

重点施策 13 地域文化団体の育成および連携

【施策方針】

八幡浜市文化協会（加盟団体 42）を中心とした地域文化を支える文化、芸術団体の育成と地域文化事業の開催を目的とする。

【実施状況】

（1）主な施策・事業

□地域文化団体の育成、地域文化事業の開催

- ① やわたはま芸能文化祭
- ② 保内芸能のつどい
- ③ 富澤赤黄男顕彰俳句大会
- ④ 保内文化のつどい

（2）主な施策・事業の実施状況

① やわたはま芸能文化祭

芸能文化祭については、八幡浜市文化協会の中から、主として旧八幡浜市の芸能、文化団体の活動の発表会という位置付けのもと、毎年文化の日に八幡浜市民会館で、それを開催している。（有料）

② 保内芸能のつどい

保内芸能のつどいについては、前述の芸能文化祭と趣旨は同じで、八幡浜市文化協会に属する旧保内町の芸能、文化団体がその活動の成果として毎年、八幡浜市文化会館（ゆめみかん）で発表会を行っている。（有料）

③ 富澤赤黄男顕彰俳句大会

富澤赤黄男顕彰俳句大会については、旧保内町が生んだ偉大な俳人である富澤赤黄男を偲び、広く一般市民や周辺の市町の俳句愛好者から投句を募り、そのなかから優秀なものを選出し、表彰している。（富澤赤黄男顕彰俳句大会開催委託料 200 千円）大会の開催は、八幡浜俳句協会・八幡浜市教育委員会の共催で行った。

④ 保内文化のつどい

保内文化のつどいについては、八幡浜市文化協会の美術工芸部会に属する旧保内町の団体が、その活動の成果として毎年八幡浜市文化会館と八幡浜市中央公民館保内別館で作品展等を行っている。（無料）

【学識経験者意見】

- 42 団体が加盟する八幡浜文化協会は、やわたはま芸能文化祭や保内芸能のつどい等を実施し、市民の高い関心と支持を得ているため、今後も引き続き文化団体の活動に市の支援・育成をお願いしたい。やわたはま芸能文化祭については、市民会館廃止後の開催方法について、検討を行ってほしい。
- 俳人富澤赤黄男顕彰俳句大会は、子ども俳句大会も併催され、俳句愛好者や市民から好評を得ているが、投句募集だけでなく、日頃から富澤氏の功績を紹介する等、郷土の偉人として顕彰してほしい。

【自己評価】

- 旧八幡浜市、旧保内町の文化協会加盟 42 団体の文化活動の育成支援を引き続き行い、それぞれの芸能発表会は、開催場所や開催日時、費用等の問題から、市民会館と文化会館「ゆめみかん」に分かれ年 1 回の分離開催となっているが、市民会館廃止後は皆さんのご意見を伺いながら、開催方法など検討していきたい。今後は、文化祭の統一とともに、各分野、部門別の開催を検討する必要がある。
- 俳人富澤赤黄男顕彰俳句大会は、八幡浜市教育委員会と八幡浜俳句協会主催で共催し、好評を得ているが、年々応募者数が少なくなっている。そこで、作品をより多く募集するために八幡浜俳句協会と協議し、市広報への掲載や句会の主宰者、また各学校へ募集要項を送付するなどより効果的な形で行えるよう努めていきたい。
また、郷土の偉人として、市民や俳句愛好者のご意見をうかがいながら大会や周知啓発を充実させ、継続的に顕彰していきたい。